

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成22年12月9日 (2010.12.9)

【公表番号】特表2010-507594(P2010-507594A)

【公表日】平成22年3月11日 (2010.3.11)

【年通号数】公開・登録公報2010-010

【出願番号】特願2009-533598(P2009-533598)

【国際特許分類】

C 0 7 K 16/22 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 P 19/02 (2006.01)

A 6 1 P 17/06 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 17/00 (2006.01)

A 6 1 P 11/00 (2006.01)

A 6 1 P 11/06 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/10 (2006.01)

A 6 1 P 27/02 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 N 1/15 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

C 0 7 K 16/46 (2006.01)

C 1 2 P 21/08 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 K 16/22 Z N A

A 6 1 K 39/395 E

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 K 39/395 D

A 6 1 K 39/395 T

A 6 1 P 19/02

A 6 1 P 17/06

A 6 1 P 29/00 1 0 1

A 6 1 P 17/00

A 6 1 P 11/00

A 6 1 P 11/06

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 9/10

A 6 1 P 27/02

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 39/395 L

A 6 1 P 43/00 1 2 1

C 1 2 N 15/00 A

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 5/00

A

C 0 7 K 16/46

C 1 2 P 21/08

## 【手続補正書】

【提出日】平成22年10月22日(2010.10.22)

## 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

## 【請求項 1】

a) 配列番号：6、配列番号：7または配列番号：8記載の重鎖CDRアミノ酸配列を含む重鎖可変領域；

b) (i) 配列番号：9、配列番号：10または配列番号：11、あるいは(i i) 配列番号：12、配列番号：13または配列番号：14記載の軽鎖CDRアミノ酸配列を含む軽鎖可変領域；

c) hVEGF<sub>165</sub>との結合についてのK<sub>D</sub>がmVEGF<sub>165</sub>との結合についてのK<sub>D</sub>よりも10倍以上高いこと；

d) hVEGF<sub>165</sub>との結合についてのK<sub>D</sub>が2.0nM以下であること；

e) ペパシズマブにより結合されるエピトープと重複するhVEGF<sub>165</sub>上のエピトープと結合すること；

f) hVEGF<sub>165</sub>のVEGF-R1およびVEGF-R2に対する結合を遮断すること；および

g) VEGF受容体のhVEGF<sub>165</sub>誘導性リン酸化を阻害すること

からなる群より選択される1または複数の特徴を含む、単離された抗体またはその抗原結合断片。

## 【請求項 2】

a) 配列番号：2からなる重鎖可変領域；

b) 配列番号：4からなる重鎖可変領域；

c) 配列番号：3からなる軽鎖可変領域；および

d) 配列番号：5からなる軽鎖可変領域；

のうちの1または複数の領域を含む、請求項1記載の抗体またはその抗原結合断片。

## 【請求項 3】

IgG2定常領域をさらに含む、請求項1記載の、抗体またはその抗原結合断片。

## 【請求項 4】

脈管形成の阻害用医薬の製造のための請求項1記載の抗体またはその抗原結合断片の使用。

## 【請求項 5】

異常な脈管形成に付随する疾患の治療用医薬を製造するための請求項1記載の抗体またはその抗原結合断片の使用。

## 【請求項 6】

VEGFシグナル伝達に付随する炎症性疾患の治療用医薬を製造するための請求項1記載の抗体またはその抗原結合断片の使用であって、該炎症性疾患がリウマチ性関節炎、乾癬、強皮症、慢性閉塞性肺疾患、および喘息からなる群より選択されてもよい、使用。

## 【請求項 7】

湿潤型急性黄斑変性または糖尿病性網膜症の治療用医薬を製造するための請求項1記載の抗体またはその抗原結合断片の使用。

## 【請求項 8】

VEGFシグナル伝達の増加に付随する癌の治療用医薬を製造するための請求項 1 記載の抗体またはその抗原結合断片の使用。

## 【請求項 9】

抗体またはその抗原結合断片が、コンジュゲートをさらに含み、ここで該コンジュゲートがトキシン、サイトカインおよび化学療法剤からなる群より選択されてもよい、請求項 8 記載の使用。

## 【請求項 10】

請求項 1 記載の抗体またはその抗原結合断片を含む、キット。

## 【請求項 11】

配列番号：2、3、4、5、6、7、8、9、10、11、12、13または14のいずれかに記載のアミノ酸配列をコードする、単離されたポリヌクレオチド。

## 【請求項 12】

請求項 11 記載のポリヌクレオチドを含む、単離されたベクター。

## 【請求項 13】

請求項 12 記載のベクターを含む、単離された宿主細胞。

## 【請求項 14】

完全な抗体である請求項 1 記載の、抗体またはその抗原結合断片。

## 【請求項 15】

モノクローナル抗体、ポリクローナル抗体、組み換え抗体、ヒト化抗体およびキメラ抗体からなる群より選択される、請求項 14 記載の抗体。

## 【請求項 16】

二重特異性抗体であるところの、請求項 14 記載の抗体。

## 【請求項 17】

完全ヒト抗体であるところの、請求項 14 記載の抗体。

## 【請求項 18】

配列番号：3 記載のアミノ酸配列を含む軽鎖可変領域；および配列番号：2 記載のアミノ酸配列を含む重鎖可変領域を有する、単離されたヒト抗体。

## 【請求項 19】

配列番号：5 記載のアミノ酸配列を含む軽鎖可変領域；および配列番号：4 記載のアミノ酸配列を含む重鎖可変領域を有する、単離されたヒト抗体。

## 【請求項 20】

請求項 18 または 19 記載の抗体および医薬上許容される担体を含む、医薬組成物。

## 【請求項 21】

請求項 1 記載の抗体またはその抗原結合断片、および医薬上許容される担体を含む、医薬組成物。

## 【請求項 22】

少なくとも1つの、X P A . 1 0 . 0 6 4 または X P A . 1 0 . 0 7 2 の重鎖相補性決定領域、および少なくとも1つの、X P A 1 0 . 0 6 4 または X P A 1 0 . 0 7 2 の軽鎖相補性決定領域を含む、単離された抗体またはその抗原結合断片。

## 【請求項 23】

重鎖相補性決定領域が、X P A . 1 0 . 0 6 4 または X P A 1 0 . 0 7 2 の、H C D R 1、H C D R 1、H C D R 3 およびそれらの組み合わせからなる群より選択されるところの、請求項 22 記載の単離された抗体またはその抗原結合断片。

## 【請求項 24】

軽鎖相補性決定領域が、X P A . 1 0 . 0 6 4 または X P A 1 0 . 0 7 2 の、L C D R 1、L C D R 1、L C D R 3 およびそれらの組み合わせからなる群より選択されるところの、請求項 22 記載の単離された抗体またはその抗原結合断片。